

行政視察報告書

令和8年3月15日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員 伊藤喜久雄

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 行政視察
2. 視察期間 令和8年3月3日(火)～3月4日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ①奈良県大和郡山市豊臣兄弟「大和郡山大河ドラマ館」
観光振興と地域活性化の取り組み
 - ②奈良県大和郡山市紺屋町「紺屋館」
歴史的町並みの再生取り組み
 - ③兵庫県神戸市中央区「人と防災・未来センター」
防災教育の取り組み

4. 調査内容・感想等

■ 大和郡山市豊臣兄弟「大和郡山大河ドラマ館」

観光振興と地域活性化の取り組み

2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟」の主人公・豊臣秀長。その秀長が城主として治めた大和郡山に秀長の生誕の日である3月2日から、死去した1月22日まで「大河ドラマ館」がオープンしました。

ドラマ館は、DMGMORI やまと郡山城ホール1階展示室で、開館時間は10時から17時まで、入館料は600円。

ドラマの時代背景や登場人物の紹介と、衣装や小道具などが11の区画で展示され、同館の館長から説明を受けました。

ドラマ館の近くにある史跡郡山城跡にある東多聞櫓内でも「秀長と郡山のあゆみ」展が開催されており、秀長による郡山城築城の実態や、その

舞台となった郡山という地域が歩んだ歴史を振り返ることができます。

ドラマ館のみならず、実際の歴史現場である隣にある秀長の居城・史跡郡山城跡も時間的距離感もなく、2つの施設での展示・紹介が相乗効果を生んでいます。



■大和郡山市紺屋町「紺屋館」

歴史的町並みの再生取り組み

箱本館「紺屋」は、藍染め商の町屋を再生した建物で、藍染め体験や展示、くつろぎスペースなどがある観光施設です。町歩きの途中でふらっと立ち寄ることができます。常設展示では、大和郡山市らしく金魚に関する展示が大きな特徴。幕末頃から金魚に関する資料や、地元産の金魚を使った「金魚コレクション」などがあり、金魚のまちの歴史や文化を感じることができます。

また、江戸時代から続く藍染め商の町家を改装した建物そのものが「展示場」のような位置付けで、土間や座敷、梁など、昔の商家の造りを身近に見ることができます。くつろぎスペースもあり、「和気藍々」という喫茶スペースでは展示を見た後にコーヒーを飲んで休憩できます。

藍染め体験（奈良芸術短大の卒業生がスタッフ）もでき、町中のスポット

になっていることと、入館料が無料であることで、当日も多くの入館者が見られました。

なお、本施設は大和郡山市箱本館「紺屋」条例（平成 18 年 4 月施行）や同施行規則で、目的や設置が明記されています。

■兵庫県神戸市中央区「人と防災・未来センター」

防災教育の取り組み

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承するとともに、その経験を生かし、防災に関する知識や技術の普及を図るために 2002 年 4 月、兵庫県が国の支援を得て設置。

災害文化の形成や地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、減災社会の実現に貢献するための取組が行われています。

主な特徴として、①震災の映像・資料の保存と公開、②体験型展示による防災教育、③語り部による講話活動、④国内外への防災研究・発信拠点。

震災体験・展示では、映像シアターにより地震発生時の状況を疑似体験と被災直後の街並みが再現展示。

防災教育の取組では、年齢層に応じた学習プログラムで、VR やデジタル技術を活用し「知識」だけでなく「行動」につながる体験学習に工夫がされています。

語り部による講話活動では、被災者自身による体験談は説得力があり、意識啓発に大きく寄与しています。

同センターは、単なる展示施設ではなく、体験・教育・記録の機能を兼ね備えた総合的な防災拠点であり、①体験型コンテンツによる高い教育効果、②継続的な語り部活動による記憶の風化防止、③子どもから大人まで対象として多層的な学習設計が評価できます。



5. 行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

■ 奈良県大和郡山市豊臣兄弟「大和郡山大河ドラマ館」

観光振興と地域活性化の取り組み

歴史や文化資産を活用したテーマ性のある観光施策の推進や SNS・映像コンテンツを活用した情報発信、期間限定のイベントを契機とした継続性の誘客への取り組みなど、今後の観光施策に活かしていきたいと考えています。

■ 奈良県大和郡山市紺屋町「紺屋館」

歴史的町並みの再生取り組み

歴史的建築物を保存しながら公共施設として再生した事例として、施設運営の工夫や観光誘客への取り組み、体験型事業による地域活性化、地域住民や関係団体の連携による文化財の保存と地域経済振興との両立

など、今後の観光施策に活かしていきたいと考えています。

■兵庫県神戸市中央区「人と防災・未来センター」

防災教育の取り組み

防災教育における体験型コンテンツの導入や地域における語り部・伝承活動の推進、学校教育と連携した防災学習の体系化、デジタル技術を活用した啓発強化など、今後の防災施策に活かしていきたいと考えています。